

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ダイキョーニシカワ株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市寺家産業団地5番1号

(3) 業種

輸送機械器具用プラスチック製品製造業(1832)

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画に期間は、令和5（2023）年度を基準年度とし、令和6（2024）年度から令和10（2029）年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

環境理念

「我社は、全員参加で、徹底した環境保全活動を継続的に行い、人・社会・地球にやさしい企業になります。」

環境方針

- 1、 企業活動が環境に与える影響を把握し、環境目的・目標を定め、定期的な見直しを行うとともに、環境マネジメントシステムにより継続的改善を図り、汚染の予防に勤めます。
- 2、 企業活動、製造及びサービスの環境に与える影響の中で、特に以下に項目について、優先的に活動し、徹底したロス低減と環境改善に取り組みます。
 - ・廃棄物の削減とリサイクル化
 - ・省資源。省エネルギーの推進
 - ・環境負荷物質の管理・低減
- 3、 環境に関連した方規則およびその他の要求事項を順守します。
- 4、 この環境方針は、文書化し、当社のために働く全ての人に周知し。実行し、維持します。
- 5、 この環境方針は、社外に公表します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和5 (2023) 年度	令和5 (2023) 年度
二酸化炭素	10,157	10,157

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)、削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

売上高(百万円)

単位：排出量(t-CO₂)、原単位置量 (kg等)、削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和5 (2023) 年度)			原単位 削減目標 削減率 (d)	目標年度 (令和10 (2029) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	10,157	13,053	0.78	5.1	10,500	14,200	0.74
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	10,157	13,053	0.78	5.1	10,500	14,200	0.74
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-	0.35	5.7	-	-	0.33
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位を基準年度より原単位基準1%削減						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	原単位 1%/対前年	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設定温度の適正管理 ・冷却水設定温度の適正管理 ・昼休憩中及び作業終了工程の照明消灯
2	燃料使用量の削減	原単位 1%/対前年	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー復水放熱ロス対策と再利用 ・設備稼働に合わせたボイラー運転
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	なし	
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物削減とリサイクル化	埋立て廃棄物の10%削減	・廃棄物の分別とリサイクル
2	環境保全活動の実施	実施率100%	事業所周辺(1回/月)と地域公共場所の清掃実施(随時)
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制

本社工場環境管理責任者(工場長)を責任者とした本社工場環境委員会を設置し、本社工場第1製造課、本社工場第2製造課、本社工場第3製造課、本社工場管理係(事務局)、製造統括部、製造技術部及び製造保全部広島保全課(エネルギー管理者)の各部門長を責任者とした推進・点検体制を組織する。

(2) 実施状況の点検・評価

エネルギー管理部門の保全課と事務局の管理係を中心とした環境委員会を、毎月開催し温室効果ガス削減状況を把握・点検及び問題点の検討を行い、マネージメントレビュー(2回/年)にて定期的な評価・見直しを行い、継続的な向上を図る。
また、毎年度の取組状況を点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

事業所への備え付けによる閲覧